

RANDONNEUR PLUS PROJECT

ROAD TO RAAM

YUSUKE OCHIAI

サイクリスト落合佑介

アメリカ横断 4,880kmへの挑戦

果てしなく続く、挑戦という名の道のりをひたむきに走る超長距離サイクリストの落合佑介。彼は今年6月、世界で最も過酷なアメリカ横断自転車レース、「Race Across AMerica(RAAM)」に挑戦します。およそ5,000kmにおよぶ道の先に彼が目指すのは、日本人男性がまだ成し遂げていない表彰台の高みです。



アメリカ横断自転車レース「RAAM」でトップを目指す！ 落合佑介の挑戦



レース・アクロス・アメリカ (Race Across America, RAAM) は、5,000kmにおよぶ距離で争われる世界で最も過酷な自転車耐久レースです。その過酷な戦いに日本最高峰サイクリングの第一人者である落合佑介が挑みます！！皆さんのお力添えを是非よろしくお願ひ申し上げます。

現在の支援総額
0円
目標金額は2,100,000円

支援者数
0人

募集終了まで残り
36日

公開されたらメールでお知らせ

このプロジェクトに

CROWDFUNDING

クラウドファンディングを 立ち上げました

落合佑介の挑戦にお力添えをいただくために、クラウドファンディングを立ち上げました！彼のチャレンジを多くの方に知っていただき、応援していただけるよう、返礼品もたくさんラインナップしたのでぜひご覧いただき、ご支援いただけますよう、よろしくお願ひいたします。

クラウドファンディング
「CAMPFIRE」

只今申請中 4月下旬公開！



挑戦にかける落合佑介の思い

「RAAMへの挑戦では、表彰台へ上がることを目標にしていますが、目指すのはそれだけではありません。これまで私を支え応援してくれた方に少しでも元気や挑戦する力をお返しできればと思っています。これまでのチャレンジでも、さまざまなエールが私の力になりました。今回の挑戦でも、みなさんの応援を力に変えて4,880kmの先にある表彰台の頂点に立ちます」



世界一過酷な自転車レース RAAMとは?



レース・アクロス・アメリカ(Race Across AMERICA, RAAM)は、世界で最も過酷な自転車耐久レースであり、5,000kmにおよぶ距離で争われる。グランツール(ジロ・デ・イタリア、ツール・ド・フランス、ブエルタ・ア・エスパーニャ)とは異なり、シングル・ステージの世界最長のタイムトライアルレース。ドラフティングは禁止されており、一般公道を使用して行われる。サポートクルーの帯同が義務付けられており、最小 2台のサポートカーとそれぞれ2人の免許を所持するドライバーが最低でも必須となる。

2023.6.13 レーススタート

→ 2023.6.24 ゴール予定

RANDONNEUR PLUS PROJECT
**ROAD
TO RAAM**
YUSUKE OCHIAI



YouTubeも公開中
ご視聴はこちらから



落合佑介サポートチーム
RANDONNEUR PLUS PROJECT はこちら



PROFILE

奈良県在住 所属先: RANDONNEUR PLUS PROJECT

自転車歴

2009年 超長距離サイクリング ブルベを始める

2011年 BRM604近畿600紀伊半島1周を23時間34分にて完走。第17回Paris-Brest-Parisに初出場。日本人2位の55時間32分にてゴール。

2015年 2回目出場の第19回Paris-Brest-Parisでは日本人2位の50時間32分にて完走。

2016年 Bike Across Japan 2400(鹿児島県佐田岬~北海道宗谷岬間2,400kmのブルベ)を118時間54分にて完走。ギネス認定外ながら、日本縦断最速記録を樹立。BR715北海道1200を48時間32分にて完走。国内1,200キロの最速記録を樹立。

2017年 Japanese Odyssey 2017(3,854km/獲得標高35,268m)に日本人として初出場。279時間20分にて全体トップで完走。

2018年 Japanese Odyssey 2018(2,800km/獲得標高33,224m)を199時間45分にて全体トップタイムで完走

2019年 3回目出場の第19回Paris-Brest-Parisではアジア人トップ/全体20位の48時間28分にて完走(ノンサポート記録)

2020年 RAAMの日本予選であるRAA(Ride Around Aomori 距離650キロ)を24時間10分のトップで完走

2021年 日本縦断ギネス記録(距離2,587キロ)に挑戦し、136時間30分のギネス世界記録を更新(2022年7月認定)

2022年 アメリカ西部の長距離レースRAW(Race Across the West 距離930マイル)を63時間34分でUnder50カテゴリ優勝・総合2位の成績で完走。

RESPECT
For All Challengers.

